



たけだ正光県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

小児への放射能不安解消を



6月県議会で震災問題に関連して質問する武田正光県議

流山市民の大きな期待を担って、県会議員としての4年間を全力疾走した武田正光議員は先の県議選で再選を果たしました。結果的に無投票当選でしたが、初心を忘れずに一層、積極的な議員活動を繰り広げる覚悟です。所属する県土整備常任委員会では推されて委員長に就任しました。千葉県全体の

6月県議会一般質問 流山市特集

バランスが取れた発展に心配りをすることはもちろんですが、地元流山市のTX沿線土地地区画整理事業や(仮称)新流山橋建設の実現をも重点目標に掲げています。6月県議会では早速、一般質問に登壇し、東京電力福島第一原発からの放射能問題を中心に、県の考え方や施策を質しました。

武田議員 東京電力福島第一原子力発電所の事故発生から、ほぼ3カ月が経過し、長期化する放射能問題に、県民の不安は、ますます高まっている。

県が実施した各市の放射線量の測定結果をみると、県北西部において、他の地域よりも、高い数値が観測されるところが見受けられる。福島第一原子力発電所の事故収束までの期間の見通しが全く立たない中、今後、中長期的に、さらにきめ細かい調査を行うことが県民の方々より望まれている。

そこだろうか、県北西部の放射線量の測定について、引き続き千葉県はどのように取り組んでいくのか。

環境生活部長 5月31日から県が実施している空間放射線量の測定結果では、県北西部で比較的高い値が測定されたところがありました。

しかし、いずれの地点においても、文部科学省が示している校舎・校庭などの利用判断における暫定的な目安、さらには放射線量低減策を実施する場合の指標を下回っていました。

県では、今後、持ち運び

のできる放射線測定器を35台整備して、市町村に貸し出し、また、研修の実施やマニュアルの配布などにより、各市町村が、同じ性能の機械を用いて、統一的手法で測定する体制を整備していきます。

県北西部においては、各市が放射線調査などの取組を始めていますので、連携して、きめ細かな監視体制の整備に取り組んでまいります。

武田議員 妊娠中の方や小さなお子さんを持つお母さんは、今回の放射能汚染による胎児や小児への影響について、大きな不安を持っている。

不安の内容は、子どもの生活する場の空気・土壌の放射線量をはじめ、食品や飲料水の安全性などももちろんのこと、放射線を受けたことによる小児の健康への中長期的な影響といった将来的な不安についても関心が向けられている。

県には、このような不安を持つ妊婦や母親などに対して、積極的にまた迅速に情報提供することにより、不安を解消し、安心して生み、子育てができるよう支援することが求められている。

そこだろうか、県として、県民の不安にどのように対応しているのか。

健康福祉部長 県ホームページに「放射能についてのQ&A」を掲載し、放射線の健康への影響などについて

情報提供しています。特に、小児関連では、母乳の安全性や小児の健康への影響などについて、国や関係学会の情報を適時に提供しており、各健康福祉センターにおいて健康相談を実施しています。

今後も、国などの動きも踏まえ、小児関連の新たな情報の提供などに努めます。

武田議員 小児医療の充実が私の公約。小児の健康への長期的な影響に対する対応など、県として検討すべきことがあると思うがどうか。

健康福祉部長 本県の一部地域において大気中に観測される程度の放射線を、仮に長期に受けた場合の健康への影響は、現時点で確立した科学的根拠はありません。

県としては、小児の放射線の被曝量を最小限にとどめることを基本に当面、対応しています。また、被曝量を低減する具体的な取り組みや、健康状況の調査など長期的フォローアップの仕組みについて国に要望しています。

今後、国の対応や市町村からの要望を踏まえ、県独自の取り組みの検討など適切に対応してまいります。

健康福祉部長 県ホームページに「放射能についてのQ&A」を掲載し、放射線の健康への影響などについて

武田正光県議 Profile

略歴

- 昭和44年8月9日生まれ
- 昭和57年 流山市立八木南小学校卒
- 昭和60年 流山市立八木中学校卒
- 昭和63年 専修大学松戸高等学校卒
- 平成4年 中央大学商学部卒業 公認会計士
- 平成19年 県議会議員初当選
- 平成23年 県議会議員再選

現職

- 県議会 県土整備常任委員会委員長
- 自民党県連 青年局青年部常任幹事

●流山市や県政のご相談、ご要望をお聞かせください

たけだ正光 県議事務所

〒270-0163 流山市南流山1-1-2-701
TEL.04-7159-0518

ホームページ <http://www.takeda-hashiru.com>

●たけだ正光ブログもご覧下さい。毎日更新中!! ブログ <http://takedama.exblog.jp/>

要望 武田議員 放射線医学総合研究所がせつかく千葉にあるのだから、連携をすることも視野に入れるべきではないか。

流山市特集

ふるさと流山のために たけだ正光県議

6月県議会一般質問

安全安心の野菜販売を

放射能による出荷制限厳守



議場の自席で再質問をする武田正光県議

武田議員 本県は全国屈指の農林水産県として、県内のみならず首都圏や全国の消費者に新鮮でおいしい農産物を安定的に供給している。

今回の東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射性ヨウ素やセシウムなどの放射性物質が千葉県にも飛来し、一部農産物から暫定規制値を超える放射性物質が検出され、出荷停止を余儀なくされた。生産者の皆様の気持ちを察しますと、誠に残念でならない。

うまことに遺憾な事例があった。モニタリング検査の結果を受けて出荷制限をしても、それが守られなければ、検査をする意味も薄れてしまう。

放射能問題に多くの国民が不安を感じている今、消費者の信頼を得るために最も重要なことは、食の安全・安心の確保であり、規制値を超えるものは、絶対に市場に流通させない。言うなれば流通しているものは、安全・安心と自信を持って販売できるようにしなければならぬ。

再生可能エネルギー 導入促進を図るべき

武田議員 太陽光発電や風力、波力など、再生可能エネルギーが注目されている。再生可能エネルギーへの設備投資が進めば進むほど、将来的には、大幅なコスト削減の実現が見込まれると考える。

これからの新しいエネルギー利用は、環境負荷が少なく、また資源小国である我が国にあっても、使えるエネルギーは存分にある。

武田議員 太陽光発電や風力、波力など、再生可能エネルギーが注目されている。再生可能エネルギーへの設備投資が進めば進むほど、将来的には、大幅なコスト削減の実現が見込まれると考える。

いよう、どのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 県では、消費者に安心して農産物を購入していただくためには、農産物モニタリング検査を定期的に実施し、その結果を速やかに公表していくとともに、暫定規制値を超えた場合には、直ちに出荷を停止させることが必要と考えています。

要請しているところであり、全国から多くの農産物を入荷する卸売市場に対しては、出荷制限時の対応や産地表示について研修会で周知徹底を図っています。

このため、生産者や出荷団体に対しては、市町村や関係団体など様々なルートで出荷停止を要請する体制を整えたところです。

今後は、県職員による卸売市場の巡回指導により、出荷制限時に監視体制を強化するなど、安全・安心な農産物の流通が確保されるよう万全を期していきます。

また、流通業者には、出荷制限された農産物は取り扱わないよう、県から直接

本県観光にダメージ

風評被害解消に全力

武田議員 原子力発電所事故に伴う放射能問題の風評被害による外国人観光客の減少は、本県経済にとって大きな打撃となっている。観光事業の風評被害に対して県はどのように対応していくのか。

知事 県としては、国に

対し、震災からの復旧・復興に向けた緊急要望や、関東各都府県市と共同での要望を行い、国内外への正確で迅速な情報提供や、訪日旅行の促進に向けた積極的なPRを行うよう強く働きか

下水汚泥の放射能監視

武田議員 600万県民の生活に欠くことのできない重要な役割を担っている下

現在、下水汚泥に関する放射性物質の基準はありますが、国が福島県に示した脱水汚泥の基準は、放射性セシウムで10万ベクレルであり、その基準を大きく下回っている状況です。

武田議員 電力需給が逼迫している状況や電力会社に依存する電力システムに対する国民の不安などを考慮すれば、県としても、国の政策決定を待たず、今、できることから再生可能エネルギーの導入促進を図るべきだ。

水道だが、印旛沼、手賀沼江戸川左岸の流域下水道において下水汚泥から放射性物質が検出されたこと聞いた。県が公表した下水汚泥の放射性物質の調査結果を、どのように受け止めたら良いのか。



震災視察 津波で流された橋が別の橋の上に乗っている(千葉県旭市)

積極的海外メディア・旅行業者を本県に招請することとしており、本県観光の元気な姿を実際に見てもらおうと、風評の解消に繋げていきたいと思います。